

第8回 科学隣接領域研究会（2019.1.24）

科学と倫理 –その5–

「科学隣接領域の研究」事業計画について



第8回科学隣接領域研究会

日時：2019年1月24日（木）14：00～15：50

場所：日本科学協会会議室（東京都港区赤坂1-2-2 5F）

参加者（敬称略）

科学隣接領域研究会	リーダー	金子 務（大阪府立大学 名誉教授）
	サブリーダー	酒井 邦嘉（東京大学大学院総合文化研究科 教授）
事務局	会長	大島 美恵子
	常務理事	石倉 康弘
	業務部マネージャー	浅倉 陽子
	” スタッフ	堀籠 美枝子

資 料

事業計画（案）、書籍紹介記事コピー（科哲20号）、メンバー表

決定事項・議論

◆事業計画について

大島会長は、2018年7月から組織の体制を変更して、改めて「科学隣接領域の研究」事業について検討した結果、継続することを伝え、事務局から事業計画案を元に、事業について説明した。

◆「科学と倫理」の活動について

金子先生からご要望があった「科学者三原則」については、研究会ではなく日本科学協会の名前で発表することになった。セミナーの次のアウトプットとして、事務局から「科学と倫理」と「科学とアート」については、まとめて冊子作るという提案を行い、実際の進捗も考えながら進めることとなった。また、金子先生から、「科学者三原則」と研究者倫理の問答を合わせた冊子の制作についてもご提案があった。

◆出版に関する意見交換

冊子を出版することについて、事務局と先生方で意見を交換し、今後どのようなやり方でパブリッシュするか（出版という形にするか）引き続き検討することとなった。

◆今後の予定についての連絡

以上